

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年6月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年6分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 159社 回答 152社 回答率 95.6%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	16社 10.6% (7.4)	24社 15.9% (10.7)	68社 45.0% (36.2)	34社 22.5% (31.5)	9社 6.0% (14.1)	151社	14社 9.4% (7.5)	22社 14.8% (12.3)	47社 31.5% (32.2)	41社 27.5% (26.7)	25社 16.8% (21.2)	149社
売上高	16社 10.5% (6.0)	30社 19.7% (12.0)	65社 42.8% (37.3)	32社 21.1% (28.7)	9社 5.9% (16.0)	152社	14社 9.3% (6.1)	17社 11.3% (12.2)	42社 28.0% (32.7)	53社 35.3% (27.9)	24社 16.0% (21.2)	150社
在庫数量	4社 2.7% (2.1)	21社 14.2% (20.0)	86社 58.1% (53.8)	34社 23.0% (19.3)	3社 2.0% (4.8)	148社	16社 11.0% (7.8)	25社 17.1% (19.1)	62社 42.5% (43.3)	30社 20.5% (18.4)	13社 8.9% (11.3)	146社
販売単価	2社 1.4% (0.0)	12社 8.1% (6.2)	119社 80.4% (81.5)	15社 10.1% (10.3)	0社 0.0% (2.1)	148社	4社 2.8% (3.5)	26社 18.1% (11.3)	70社 48.6% (50.7)	36社 25.0% (27.5)	8社 5.6% (7.0)	144社
収益状況 (粗利)	7社 4.7% (2.7)	27社 18.0% (10.2)	81社 54.0% (49.0)	29社 19.3% (25.2)	6社 4.0% (12.9)	150社	8社 5.4% (8.4)	28社 19.0% (11.9)	52社 35.4% (43.4)	44社 29.9% (21.0)	15社 10.2% (15.4)	147社
稼働率 (生産・加工設備)	5社 4.1% (4.9)	21社 17.2% (11.5)	66社 54.1% (53.3)	22社 18.0% (21.3)	8社 6.6% (9.0)	122社	8社 6.7% (6.8)	13社 10.8% (10.2)	58社 48.3% (45.8)	31社 25.8% (24.6)	10社 8.3% (12.7)	120社
入出庫の トラック台数	3社 2.1% (1.4)	22社 15.1% (9.8)	76社 52.1% (50.3)	39社 26.7% (28.7)	6社 4.1% (9.8)	146社	5社 3.5% (2.9)	13社 9.0% (12.3)	63社 43.8% (42.8)	53社 36.8% (27.5)	10社 6.9% (14.5)	144社
	現在の景況感					139社	3ヶ月後の景況予測					138社
	0社 0.0% (0.7)	7社 5.0% (4.3)	70社 50.4% (41.7)	34社 24.5% (28.8)	28社 20.1% (24.5)		4社 2.9% (0.7)	57社 41.3% (35.0)	62社 44.9% (48.9)	13社 9.4% (12.4)	2社 1.4% (2.9)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(6月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 6月中旬から高炉メーカーのロール遅延の影響もあり、需要家でなく流通からの引合いが増えてきた。相変わらず需要家の動きは低調であり、物件はあるが具体的に動き出しているものが少ないのか、大手でやりきれているのか、町場の需要家に活発な動きが見られない。盆明け以降に期待が高まる。
- ② メーカー値上げが実行され、在庫の大半は新価格に切り替わっている。一方、需要面は横這いで変化なく、流通の採算は急激に悪化している。この先、本当に価格転嫁が出来るのか、いつ出来るのか不安である。
- ③ 冷延、酸洗鋼板について、浦安の市況に変化なし。
- ④ 選挙のある月はいつも悪い。
- ⑤ 前月比、稼動が1日減に比例した売上減となった。需給面での好転は実感されず、市況も底打ち感はあるが、強い上伸力を得意先と共有出来ず、価格(売値)は横這いとなっている。収益は圧迫されており、売上・数量とも8月以降の回復待ち。引合い、見積りは秋以降の物件について確実に増加が見込まれており、とくに建築は職人不足もあり、工事専門業者はゼネコンに対して、価格交渉力を少し持てるような環境になっている。流通も踏ん張りどころと思われる。

中板

- ① 販売単価はやや上昇したが、メーカー値上げ分は転嫁出来ておらず、需要環境も好転の兆しが見えず、厳しい状況が続く。

厚板

- ① 先々の需要は底固いが、足元の需給が締まらない状況である。そのため、市況は依然として盛り上がりを欠いている。需給状況の改善には夏場までかかるとの見方が大勢だが、7月に高炉・電炉とも定修が予定されていることから、需給バランスは徐々に落ち着いていくと思われる。

—舟安开形鋼

- ① 大きな物件は予測されているが、職人不足で現場を取りに行くことが難航している。工事店が物件の取り合いをしているため、どうしても価格を上げられない。
- ② 前月比で営業日数が1日多いにもかかわらず、売上数量と額は減少した。しかし、6月中旬から荷動きは回復傾向にある。例年、第2四半期から荷動きは回復するので、今年もそれに倣うものと思われる。先ず、東北の社会基盤復興需要の創出と全国の社会基盤強靱化需要のコラボレーションに期待する。

EH形鋼

- ① 引合いは減少気味である。市況も下押し気味であるが、下げられないレベルにある。これを変えるには、需要増か在庫減しかないが、難しそうである。
- ② 市況水準は前月と変わらない。荷動きも芳しくない中、高値玉が入荷して、下げ余地が全く無いのが実情。価格転嫁しきれていない分、踏ん張りどころである。

異形棒鋼

- ① 倉出し出荷は3ヶ月連続して良くない。メーカーのユーザーへの直接納入の新規受注も明細が入ってこない。そろそろ動きがあっても良いのだが。
- ② 底辺需要の盛り上がり期待していたが、6月も空振りの状況。売上減と利益率の低下で採算はさらに悪化。昨年と同じ傾向で、我慢販売しかない。

平鋼

- ① 需要増の期待があったが、荷動きにほとんど変化はなく、小口当用買い中心。相変わらず在庫意欲は無い。価格も早急に転嫁しなければいけない状況ではあるが、きっかけも無く現状維持が精一杯。逆に、荷動きが悪いため一部で安値も出ているが、先々の需要に期待し、落ち着いて相場を維持していきたい。

鋼管

- ① 需要分野によって好不調が鮮明になっている中、全体的には低調に推移している。
- ② 4月以降、メーカー各社は値上げしているが、市況には転嫁されず、ずっと横這い状況が続いている。

構造用鋼

- ① 店売りは依然として良くなく低調。各メーカーの値上げを受けて、販売先にアナウンスをするが反応は鈍い。
- ② 今後の市況は波乱含み。値上げが課題。非常に難しい。
- ③ 需要動向については、自動車関連部品などはメーカーによってバラツキはあるが、比較的堅調な動きとなっている。建設機械関連については、増産計画は出ているが、先々の不透明感はある。また、工作機械や設備関連は低位横這いの状態が続いている。店売りについては、市中全体として盛り上らない状況が続いている。市況は、メーカー値上げが実施され、価格転嫁の唱え上げを行っているが、荷動きに回復感がないこともあり、横這いで推移している。

その他

<曲げ加工>

- ① 5月とはほぼ同じ稼働率でそれほど大きな変動なし。実際にはアベノミクスといいながら中小企業にとって実態が全く動いてなく、不況に近い。我々中小企業にあっては、土木、建築、工場設備が関係する上に公共投資、設備投資が実行されれば、今後いくらか明るく見えてくる可能性がある。一般的な話しからすれば、本年暮れもしくは来期にかけて少しは良くなるのではとの見通しである。

<スクラップ>

- ① 輸出向けはじりじりと弱含みであったが、東鉄宇都宮の価格は据え置かれたので、域内電炉に回った。

<金属表面処理加工>

- ① 6月、紐付き材は予定通り。物件物の納期調整があり、次月に繰越し、予定数量の10%減となる。スポットは前月中旬以降の引合いが活発だったことから、6月は予定扱量より大幅増。7月は橋梁、タンク案件を含め、前月同様の処理量を予定している。